

男鹿工業高創立40周年式典

夢や希望へ挑戦を

男鹿市の男鹿工業高校（高橋周也校長、242人）で1日、創立40周年記念式典が開かれ、在校生や関係者約300人が節目を祝った。

高橋校長は式辞で「先輩方が築き上げた輝かしい伝統と校風を受け継ぎ、40年の間に新たな歴史をつくり上げ、さらに次世代に引き継いでいってほしい」とあいさつ。生徒を代表し、生徒会長の山平星さん（3年）が「困難な時代を生きていく中で追いつくべからぬのは校訓の『創意実践』だ。物事を新しく考え出す創造力



記念式典であいさつする生徒会長の山平さん

と、実際に行う行動力こそが今の時代に必要。この校訓の下、夢や希望があふれる社会を築けるよう挑戦を続けてい

く」と決意を語った。創立40周年の記念キャッチフレーズ「躍進！男鹿の海風とともに」を考案した石渡慎太郎さん（同）、記念ロゴマークを考案した浅野和奏さん（同）のほか、歴代PTA会長ら9個人1団体に感謝状を贈呈。歴代校長と永年勤続

者計16人を表彰した。

式典後にはラグビー部監督として全国高校大会（花園）に4度導いた内藤徳男さんの記念講演、男鹿海洋高校郷土芸能部によるなまはげ太鼓の

演奏も行われた。

同校は地域産業の発展に寄与する技術者育成を目指して1981年に誕生した。これまでの卒業生は9905人。（藤原剣）